

MERS警戒強化

保健院 感染検査の手順確認

水際対策も

を行。陽性であれば張り出し、同様の呼び

国立感染症研究所（東京）で詳しく調べ、確実段階で国や県が公表する。

健康推進課は「未殺菌旅行や出張で中東地

韓国で中東呼吸器症候群（MERS）が発生しています！

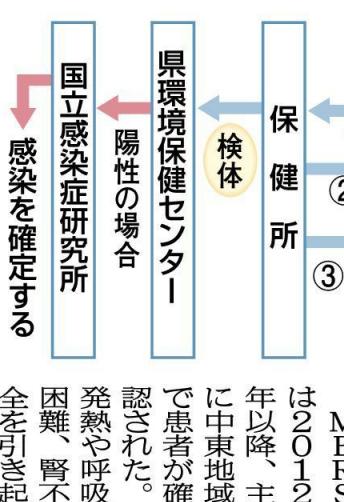
韓国で中東呼吸器症候群（MERS）が確認され、感染拡大が懸念される中、県内関係機関が警戒を強めている。感染の疑いのある患者が発生した場合の手順を示した4

治療はなく、患者は隔離病棟に入院して回復を待つ。国内では症例が確認されて以降、県は一連の対応策を関係機関へ通知。保健所と指定医療機関に電話で相

がない。

医療機関に加え、県医師会、県病院協会を通じて各医療機関にも伝え、周知徹底を図っている。

一方、水際対策も強化されている。広島検疫所岡山空港出張所は5日、同空港に着陸する国際線機内で、感染者を心配する乗客には申込するよう求める放送をスタート。検疫ブースでは4日夜、日本語



はそれぞれ対応を確認。検疫所もウイルス侵入を防ぐ水際対策を始めた。12面

MERSは2012年以降、主に中東地域で患者が確認された。発熱や呼吸困難、腎不全を引き起

肺炎を発症するといった感染の疑いがある患者は、保健所に相談し指定医療機関（岡山市立市民、倉敷中央、津山中央の3病院）で受診。検体は検査機関の県環境保健センターをスタート。検疫ブースでは4日夜、日本語

ウイルスの遺伝子検査と韓国語のポスターを

岡山空港の検疫ブースに掲示されたMERSへの注意を呼び掛けるポスター

